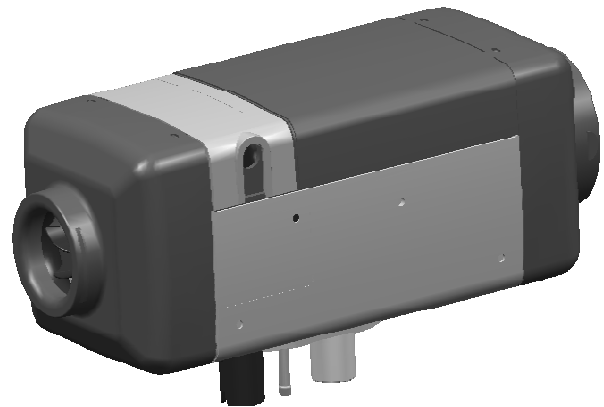


## ベバストエアヒーター・エアトップ EVO

### Air Top EVO 3900 / Air Top EVO 5500

「Air Top EVO 3900」または「Air Top EVO 5500」はAir Top 3500 STやAir Top 5000 STの後継機として機能アップを目的に開発されました。従来機種の特長である、エンジン停止状態での暖房によるアイドリングストップとそれによる燃料消費の削減に加え、早くキャビン内を暖めるパワーモードや高地でのヒーター使用を可能にする標高調整モードなど、よりユーザーフレンドリーな機能が加わりました。従来品以上にお客様に快適なカーライフを提供します。

#### Air Top EVO3900/5500の新機能

- パワーモード機能により、短時間で部屋を暖める快速暖房運転
- 気圧感知センサー内蔵により、高地でもヒーター使用可能
- モーターやエアファンなど各部品の品質や耐久性が飛躍的に向上

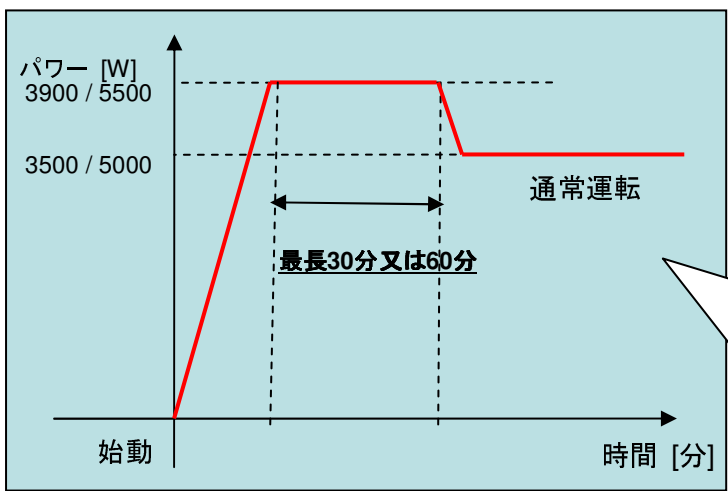
## EVO の 3 大改良点

### 改良点・その 1      パワーモードで室内を素早く適温に

Air Top EVO 3900/5500 は 110%の能力で運転を行うパワーモード機能を搭載。従来機種よりも、より短時間で室温を上げることができます。パワーモード機能は以下の条件下で自動的に発動されます。

- ① ヒーターの設定温度と室温の温度差が4度以上
- ② コントロールユニットが感知する電圧が12V仕様ヒーターで約11V以上、24V仕様では約23V以上
- ③ ヒーターからの吹き出し温風温度が112℃以下

#### EVO の運転と出力の関係



- 室温が一定値に達するまでは燃焼パワーは上昇し続けます。
- 最高で従来品の 10%増の出力で燃焼を行います。  
(それぞれ 3900W/5500W)
- 3900 では最長 60 分、5500 では 30 分パワーモード運転が可能です。
- 室温と設定温度の差が小さくなると通常運転モードに戻ります。

#### 標準運転時とパワーモード時の能力等比較

	EVO 3900 12V ガソリン		EVO 5500 24V ディーゼル	
	標準運転	パワーモード	標準運転	パワーモード
消費電力 [W]	36	45	90	116
最大暖房出力 [kW]	3.5	3.9	5.0	5.5
吹出風量 [m <sup>3</sup> /時間]	171.00	181.71	239.90	266.74
燃料消費量 [l/時]	0.49	0.55	0.69	0.75

**改良点・その2**

**標高調整機能で高地でも快適使用**

Air Top EVO 3900/5500 では高地でのヒーター運転能力が飛躍的に向上しております。今回の EVO シリーズでは従来機種になかった標高調整モードを搭載。海拔が高くなるとヒーターに内蔵されているセンサーによってヒーター自身が気圧変化を感知し、標高調整モードに自動で切り替えて、燃焼を安定させるように働きます。この機能により海拔 2,200m 地点までヒーターの使用が可能となりました。



**標準運転時と標高調整モード時の比較**

EVO 3900・24V ディーゼルの場合

モード	標準運転	標高調整モード
消費電力 [W]	36	36
最大暖房出力 [kW]	3.5	3.2
吹出風量 [m <sup>3</sup> /時間]	171.00	156.00
燃料消費量 [ℓ/時]	0.43	0.39
排気内CO <sub>2</sub> 含有量 [%]	9.5	9.0

## 改良点・その3

## 各部品の品質が更に向上

Air Top EVO 3900/5500 で使用されている部品の中には従来機種のものから改良が加えられ、機能が向上したものが数多くあり、より優れた品質や耐久性の向上を実現しました。

### 新・エアファン



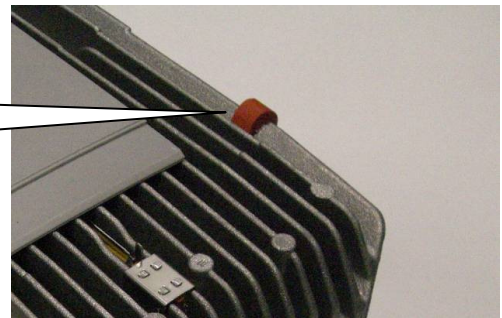
#### ファンの羽根部分からバランスウェイトを除去

- 振動軽減
- 品質が向上
- 塵や埃の付着減少

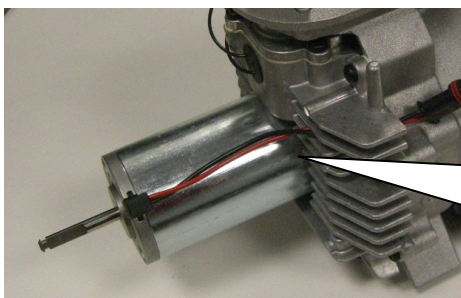
### 新・断熱材

#### 表面部がメタルからラバーへ変更

- 塵や埃の付着減少
- 風量が増加



### 新・モーター



#### モーターの種類を以前の4タイプから1種類へ統合

- 品質・耐久性・寿命向上
- 風量が増加
- 部品点数削減